

東西条地域センターだより

第19号

平成28年4月25日発行

東西条地域センター TEL&FAX 082-421-2023

咲きみちて庭盛り上がる桜草 山口青嶺

桜草がいっせいに咲いて、庭全体が盛り上がっているように見える。春まっさかりの素晴らしい様子に感動している様子を詠んだ俳句です。【季語：桜草（季節は春）】

桜草は、江戸時代から庶民に愛されてきた花で、武士の間で流行し、愛好家たちは自慢の品種を持ち寄って、花の出来栄えを競い合っていたそうです。当地域センターの桜草も、きれいに咲いて、来られる方々の目を楽しませています。これも、お世話してくださった船本様のお陰です。



桜草の花言葉は「少年時代の希望」「初恋」「自然の美しさを失わない」「あこがれ」「純潔」で、「少年時代の希望」「初恋」は、開花期間の短いことを、長くは続かない美しいものに例えたのではないかとされており、「自然の美しさを失わない」「純潔」は、品が良くかわいらしい花姿に由来しています。

春になり、様々な花々が咲いています。しかし、熊本県や大分県を襲った地震は大変な被害をもたらし、まだまだ、予断を許さない状態が続いています。お亡くなりになられた方々に対しまして、心からご冥福をお祈りいたしますと共に一刻も早く元通りの生活ができます事を願っています。私たちも、住民自治協議会で防災組織づくりを防犯・防災部会や区長の皆様方を中心におこなっております。今こそ、一人一人の事として捉え、防災・減災していくことが大切であると感じています。元気が何よりです。お身体をご自愛くださいますようお願いいたします。

主催講座について

・「これだけは知っておきたい 最新の贈与税・相続税」

3月24日、協税理士事務所の方々を講師に迎え、上記の講座を行いました。受講者の感想の一部を掲載します。

- ・ 贈与契約書、暦年贈与について、理解が一部欠けていた点に気付き大変参考になった。
- ・ エンディングノートを元気な時に考えなければと感じた。
- ・ 土地の評価の仕方が分かった。
- ・ 生前贈与について気をつけなければいけない点が良く分かった。
- ・ 制度が変わるごとに話を聴きたい。等



・「子どもの発達障害」

3月17日と31日の2日にわたって、臨床心理士の先生を講師に迎え、「子どもの発達障害～“発達障害って何だろう？”“どんなふうに関わったらいいの？”」について、パワーポイントを使って講演していただきました。

受講者の感想の一部を掲載します。

- ・発達障害を子どもの一つの特性と考え、もう少しゆったりとした気持ちで関わりたい。
- ・“生きていて楽しい”と感じられることの大切さが一番心に残っている。これは、発達障害のお子さんだけでなく、全ての人に必要なことだと思う。
- ・スモールステップでほめながらできることを増やしていく。否定ではなく肯定で伝えることが大切。
- ・学んだことを自分理解をしっかりとてまず夫婦間で活かしたい。等



《東西条地区ミニ・ニュース》

「入学式」(東西条小学校、松賀中学校)

「入学式」が東西条小学校、松賀中学校を始め、全国各地で行われました。

その様子をご紹介します。4月6日は、東西条小学校の入学式がありました。奥本校長から「大好きになろう」「明るい声で返事とあいさつをしよう」「早寝 早起き 朝ごはん」「命を大切にしよう」の4つの約束を聴き、頷いている新入生が心に残りました。

4月7日は松賀中学校へ行きました。舛金校長は、「今がチャンス」「『困難を乗り越える楽しさ』を味わってほしい」「当たり前前を当たり前前にやりきる」。この3つのことをきちんとやり遂げることにより、お互いに人として高め合い、より良く活力ある松賀中学校にしていき、「人として周囲から信頼される人」になって巣立っていこうとの式辞がありました。

両校とも、新入生は緊張の中にも堂々としており、すこし大きめの制服がより新鮮でした。新入生には、それぞれの学校を背負って立つ日も来ると思いますが、それまでに、学校の良さ、良き伝統を受け継ぎ、新しい価値観を創造していく人になって欲しいと思います。入学式以降の新入生は、登校班の人達と一緒に通い、笑顔で挨拶をする姿が印象的です。中学生も自転車の上から大きな声で挨拶をしてくれ、嬉しく思います。



《東西条小学校》



《松賀中学校》

《東西条地域センターより》

中央生涯学習センターにあった掲示板を当センターの入り口付近に設置していただきました。手形があり、地域の子もたちも自分の手と比べている様子を見ました。いつまでも輝きを失わず建っていてほしいと願っています。

車での出入りには十分注意してくださいませようお願いします。

